

2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月15日

上場会社名 オイシックス・ラ・大地株式会社 上場取引所 東
コード番号 3182 URL <https://www.oisixradaichi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 宏平
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 熊野 滋 (TEL) 03-6867-1149 (代表)
定時株主総会開催予定日 2025年6月26日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年6月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		EBITDA(※1)		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	256,009	72.5	12,800	55.3	6,864	33.9	6,561	48.4	3,638	△11.4
2024年3月期	148,408	28.9	8,241	47.3	5,125	53.2	4,420	57.3	4,108	127.3

(注) 包括利益 2025年3月期 3,680百万円(8.9%) 2024年3月期 3,378百万円(45.7%)

(※1) EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却額としています。

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	103.13	—	12.2	4.7	2.7
2024年3月期	112.38	—	15.3	4.2	3.5

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 498百万円 2024年3月期 △24百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	134,564	39,487	22.6	874.72
2024年3月期	143,709	37,401	20.2	794.83

(参考) 自己資本 2025年3月期 30,381百万円 2024年3月期 29,057百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	3,496	△12,451	△1,551	18,955
2024年3月期	7,722	△10,815	17,735	29,440

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00	—	13.9	—

(注) 2026年3月期の配当予想につきましては、本日(2025年5月15日)公表いたしました「株主還元方針の変更(株主優待の廃止及び配当の開始)」に関するお知らせをご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	270,000	5.5	14,000	9.4	8,000	16.5	4,000	9.9	115.17

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名)株式会社HiOLI 、 除外 — 社 (社名)—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	38,028,092株	2024年3月期	38,028,092株
② 期末自己株式数	2025年3月期	3,295,174株	2024年3月期	1,470,130株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	35,276,140株	2024年3月期	36,558,053株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	100,297	△4.1	11,015	83.3	10,797	86.1	8,629	50.4
2024年3月期	104,580	1.7	6,010	40.0	5,802	37.1	5,737	120.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期	244.62		—					
2024年3月期	156.93		—					

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
2025年3月期	72,815		10,440		14.3	300.59
2024年3月期	80,739		30,367		37.6	830.67

(参考) 自己資本 2025年3月期 10,440百万円 2024年3月期 30,367百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	19

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの影響から脱し、定常的な経済環境に移行しており、各種政策の効果や雇用・所得環境の改善などもあり、個人消費に持ち直しの動きがみられました。しかしながら、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇や、地政学リスク等の影響による景気停滞懸念は依然として残っており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主力事業であるBtoCサブスク事業を取り巻く食品宅配業界の事業環境は、経済活動の正常化が進む中でも食品宅配に対する消費者の需要が引き続き堅調であり、さらなるラインナップの拡充や、手軽さや時短を求める商品開発など世帯ごとの食に対するニーズの多様化に対応しています。

また、BtoBサブスク事業においては、「オフィス回帰」が進む中、動機付けの1つとして社員食堂の活用が進むなど、市場は堅調に推移している一方、原材料価格の高騰や最低賃金の引き上げ、慢性的な人員不足が継続し、事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループにおいては、食を支えるインフラ企業として、安定的な商品供給の確保に取り組むとともに、家庭での食事や、病院・保育園等の施設での給食の在り方が大きく変化する中で、お客さまやエンドユーザー、クライアントの潜在的ニーズをいち早く捉え、満足していただける商品・サービスを提案してまいります。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は256,009百万円（前期比72.5%増）、EBITDA（※）は12,800百万円（前期比55.3%増）、営業利益は6,864百万円（前期比33.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,638百万円（前期比11.4%減）となりました。

（※）EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

なお、当社グループは、前第4四半期連結会計期間に連結子会社となったシダックス株式会社の傘下にあるエス・ロジックス株式会社（当社が66%の株式を保有するシダックスホールディングス株式会社が100%の株式を保有するシダックス株式会社の傘下にある事業会社。）の食品製造拠点において、棚卸資産の過大計上が判明したため、決算訂正を行いました。第27期(2024年3月期)以降の決算を訂正し、2024年3月期有価証券報告書および2025年3月期半期報告書を2025年3月31日に関東財務局へ提出するとともに、同日付で2024年3月期決算短信、2025年3月期第1四半期決算短信および2025年3月期第2四半期（中間期）決算短信の訂正開示並びに第28期第3四半期(2024年4月1日～2024年12月31日)の決算短信の開示を行いました。

① BtoCサブスク事業

ウェブサイトやカタログを通じてお客様より注文を受け、独自の栽培、生産基準に基づいた環境負荷の少ない高付加価値の食品（青果物・加工食品・ミールキット）や、日用品や雑貨等を宅配する事業を行っております。

国内においてはインターネットやカタログを通じて主に食品・食材の直販を行い、「Oisix」「大地を守る会」「らでいっしゅぼーや」の3ブランドを展開しております。「Oisix」は、共働きの子育て世代を主要ターゲットとし、プレミアムな時短を実現する商品、サービスを提供しております。「大地を守る会」は、今年創業から50年を迎え、“とことんナチュラル、ひたすら国産”のコンセプトのもと、国産・オーガニックな食材を中心にサービスの磨き上げに注力しております。「らでいっしゅぼーや」は、料理などの日常生活を通じて社会貢献や生産者応援をしたい世帯を主要ターゲットとし、「ふぞろいRadish」などの商品、サービス開発を進めております。

海外においては、米国で「Purple Carrot」ブランドを展開しております。「Purple Carrot」は、プラントベースを志向し、食生活を通じた健康な生活の実現に関心の高い消費者を主要ターゲットとし、プラントベースに沿った時短を実現する商品、サービスを提供しております。

② BtoBサブスク事業

企業・官公庁・保育園等の食堂の給食や管理業務、及び病院の入院患者を対象とした給食や老人保健施設等の給食などの受託運営、並びに外食産業に利用する食材販売を行っております。

BtoBサブスク事業には、病院・高齢者施設を中心とする「メディカルフードサービス」、社員食堂を中心とする「コントラクトフードサービス」、保育園への食材卸事業である「すくすくOisix」などが含まれており、お客さまのニーズに合わせて柔軟に対応した食事・サービスの提供をしております。

③ 社会サービス事業

地方自治体からの学校給食・放課後児童クラブ・児童館・図書館・道の駅等の施設管理及び運営、並びに民間企業からの各種アウトソーシングを受託しております。

④ 車両運行サービス事業

民間企業や官公庁・地方自治体からの車両運行管理業務のアウトソーシングを受託しております。

⑤ その他事業

他社EC支援事業や移動スーパー事業、投資事業などが含まれます。

なお、当連結会計年度の業績詳細は、決算説明資料を参照ください。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における総資産は134,564百万円となりました。

流動資産は53,246百万円となり、前連結会計年度末残高61,278百万円と比較して8,031百万円減少しました。

この主な要因は、現金及び預金10,493百万円の減少、売掛金1,058百万円の増加、商品及び製品478百万円の増加、原材料及び貯蔵品461百万円の増加、未収入金192百万円の減少、その他流動資産526百万円の増加等によるものです。

固定資産は81,317百万円となり、前連結会計年度末残高82,431百万円と比較して1,114百万円減少しました。

この主な要因は、有形固定資産665百万円の増加、無形固定資産1,835百万円の減少、投資その他の資産55百万円の増加によるものです。無形固定資産の減少の主な要因は、償却による顧客関連資産の減少1,179百万円、のれんの減少388百万円等であります。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は95,076百万円となりました。

流動負債は45,933百万円となり、前連結会計年度末残高62,875百万円と比較して16,941百万円減少しました。

この主な要因は、未払金9,032百万円の減少、短期借入金4,950百万円の減少、未払法人税等2,426百万円の減少等によるものです。

固定負債は49,143百万円となり、前連結会計年度末残高43,432百万円と比較して5,710百万円増加しました。

この主な要因は、長期借入金6,753百万円の増加、リース債務1,181百万円の減少等によるものです。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は39,487百万円となり、前連結会計年度末残高37,401百万円と比較して2,085百万円増加しました。

この主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益3,638百万円、自己株式の取得2,303百万円、非支配株主持分の増加723百万円等によるものです。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度のキャッシュ・フローについては、営業活動による3,496百万円の増加、投資活動による12,451百万円の減少、財務活動による1,551百万円の減少等により、現金及び現金同等物(以下「資金」)は10,485百万円減少したことから、期末残高は18,955百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、3,496百万円となりました。

この主な要因は、税金等調整前当期純利益6,559百万円、減価償却費4,596百万円、のれん償却額1,339百万円があった一方、法人税等の支払額4,574百万円、未払金の減少額1,100百万円、売上債権の増加額1,027百万円、棚卸資産の増加額857百万円等があったことであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、12,451百万円となりました。

この主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出8,261百万円、有形固定資産の取得による支出2,552百万円、無形固定資産の取得による支出852百万円、投資有価証券の取得による支出635百万円等があったことであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1,551百万円となりました。

この主な要因は、長期借入れによる収入8,228百万円、短期借入金の純増減額による支出4,988百万円、自己株式の取得による支出2,311百万円、長期借入金の返済による支出2,131百万円等があったことであります。

（４）今後の見通し

当社は、OisixをはじめとしたBtoCサブスク事業に加え、BtoC事業で培ったノウハウを生かし、BtoBサブスク事業においても事業規模拡大および収益力向上を最優先課題として取り組んでいきます。

上記の状況を鑑み、翌連結会計年度(2026年3月期)業績予想につきましては、売上高270,000百万円(当期比5.5%増)、EBITDA 14,000百万円(当期比9.4%増)、営業利益8,000百万円(当期比16.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は4,000百万円(当期比9.9%増)を見込んでおります。

なお、翌連結会計年度の業績予想詳細は、決算説明資料を参照ください。

上記の業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

（1）連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年 3 月31日)	当連結会計年度 (2025年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,649	19,155
受取手形	57	44
売掛金	24,879	25,938
商品及び製品	2,207	2,685
仕掛品	125	229
原材料及び貯蔵品	1,376	1,838
未収入金	1,553	1,361
その他	1,713	2,240
貸倒引当金	△285	△246
流動資産合計	61,278	53,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,667	4,046
減価償却累計額	△1,825	△1,948
建物及び構築物（純額）	1,842	2,097
機械装置及び運搬具	5,023	8,192
減価償却累計額	△2,548	△2,800
機械装置及び運搬具（純額）	2,475	5,391
リース資産	22,030	22,065
減価償却累計額	△2,576	△3,830
リース資産（純額）	19,453	18,234
建設仮勘定	1,585	0
その他	2,289	2,720
減価償却累計額	△1,246	△1,378
その他（純額）	1,043	1,341
有形固定資産合計	26,400	27,066
無形固定資産		
顧客関連資産	25,655	24,476
のれん	15,225	14,837
その他	3,081	2,813
無形固定資産合計	43,963	42,127
投資その他の資産		
投資有価証券	3,339	3,841
敷金及び保証金	2,595	2,648
繰延税金資産	5,132	4,151
その他	1,073	1,559
貸倒引当金	△74	△78
投資その他の資産合計	12,067	12,123
固定資産合計	82,431	81,317
資産合計	143,709	134,564

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,159	11,671
短期借入金	15,045	10,095
1年内返済予定の長期借入金	2,166	1,884
リース債務	1,270	1,294
未払金	15,938	6,906
未払費用	8,924	8,574
未払法人税等	3,224	797
契約負債	505	499
賞与引当金	1,552	1,606
ポイント引当金	87	109
資産除去債務	32	—
その他	2,968	2,492
流動負債合計	62,875	45,933
固定負債		
長期借入金	14,648	21,401
リース債務	18,598	17,417
資産除去債務	942	1,316
繰延税金負債	8,911	8,682
その他	331	324
固定負債合計	43,432	49,143
負債合計	106,307	95,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,995	3,995
資本剰余金	8,021	8,053
利益剰余金	20,364	23,736
自己株式	△4,504	△6,807
株主資本合計	27,878	28,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	245	214
為替換算調整勘定	934	1,188
その他の包括利益累計額合計	1,179	1,403
新株予約権	38	75
非支配株主持分	8,306	9,030
純資産合計	37,401	39,487
負債純資産合計	143,709	134,564

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	148,408	256,009
売上原価	86,555	180,798
売上総利益	61,852	75,210
販売費及び一般管理費	56,726	68,345
営業利益	5,125	6,864
営業外収益		
受取利息	1	23
受取配当金	4	19
団体定期配当金	11	204
受取補償金	19	21
持分法による投資利益	—	498
助成金収入	70	43
投資事業組合運用益	84	—
その他	62	119
営業外収益合計	255	930
営業外費用		
支払利息	236	766
シンジケートローン手数料	537	—
為替差損	65	24
持分法による投資損失	24	—
投資事業組合運用損	—	181
その他	95	260
営業外費用合計	960	1,233
経常利益	4,420	6,561
特別利益		
投資有価証券売却益	6	—
段階取得に係る差益	3,447	439
特別利益合計	3,453	439
特別損失		
役員退職慰労金	1,002	—
減損損失	420	221
投資有価証券評価損	53	42
特別調査費用等	—	177
特別損失合計	1,475	441
税金等調整前当期純利益	6,398	6,559
法人税、住民税及び事業税	3,259	2,253
法人税等調整額	△425	841
法人税等合計	2,834	3,095
当期純利益	3,564	3,464
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△544	△173
親会社株主に帰属する当期純利益	4,108	3,638

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	3,564	3,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△107	△29
為替換算調整勘定	△94	290
持分法適用会社に対する持分相当額	16	△46
その他の包括利益合計	△185	215
包括利益	3,378	3,680
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,094	3,854
非支配株主に係る包括利益	△715	△174

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,995	8,016	16,255	△4,503	23,764
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			4,108		4,108
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社の増資による持分の増減		4			4
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	4	4,108	△0	4,113
当期末残高	3,995	8,021	20,364	△4,504	27,878

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	155	677	832	－	1,542	26,140
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益						4,108
自己株式の取得						△0
連結子会社の増資による持分の増減						4
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	89	256	346	38	6,763	7,148
当期変動額合計	89	256	346	38	6,763	11,261
当期末残高	245	934	1,179	38	8,306	37,401

当連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,995	8,021	20,364	△4,504	27,878
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			3,638		3,638
持分法適用関連会社の持分法適用範囲の変更に伴う減少高			△265		△265
自己株式の取得				△2,303	△2,303
連結子会社の増資による持分の増減		31			31
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	31	3,372	△2,303	1,100
当期末残高	3,995	8,053	23,736	△6,807	28,978

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	245	934	1,179	38	8,306	37,401
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益						3,638
持分法適用関連会社の持分法適用範囲の変更に伴う減少高						△265
自己株式の取得						△2,303
連結子会社の増資による持分の増減						31
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△30	254	224	37	723	985
当期変動額合計	△30	254	224	37	723	2,085
当期末残高	214	1,188	1,403	75	9,030	39,487

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,398	6,559
減価償却費	2,614	4,596
のれん償却額	501	1,339
減損損失	420	221
投資有価証券評価損益(△は益)	53	42
貸倒引当金の増減額(△は減少)	35	△34
賞与引当金の増減額(△は減少)	778	49
受取利息及び受取配当金	△6	△43
団体定期配当金	△11	△204
受取補償金	△19	△21
支払利息	236	766
シンジケートローン手数料	537	—
持分法による投資損益(△は益)	24	△498
投資事業組合運用損益(△は益)	△84	181
売上債権の増減額(△は増加)	363	△1,027
未収入金の増減額(△は増加)	1,626	193
棚卸資産の増減額(△は増加)	45	△857
仕入債務の増減額(△は減少)	△648	413
投資有価証券売却損益(△は益)	△6	—
助成金収入	△70	△43
段階取得に係る差益	△3,447	△439
未払金の増減額(△は減少)	△1,079	△1,100
契約負債の増減額(△は減少)	△673	△5
未払費用の増減額(△は減少)	858	△416
その他	657	△997
小計	9,106	8,674
利息及び配当金の受取額	162	98
利息の支払額	△237	△766
法人税等の支払額	△1,358	△4,574
助成金の受取額	71	43
損害賠償金の受取額	19	21
調査関連費用の支払額	△41	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,722	3,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,623	△2,552
無形固定資産の取得による支出	△1,159	△852
投資有価証券の取得による支出	△997	△635
投資有価証券の売却による収入	369	—
関係会社株式の取得による支出	—	△45
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△7,217	△8,261
敷金及び保証金の差入による支出	△173	△163
敷金及び保証金の回収による収入	4	94
資産除去債務の履行による支出	—	△33
その他	△18	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,815	△12,451

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）	当連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	4,984	△4,988
長期借入れによる収入	16,201	8,228
長期借入金の返済による支出	△2,276	△2,131
新株予約権の発行による収入	—	37
非支配株主からの払込みによる収入	562	1,367
非支配株主への払戻しによる支出	△362	△503
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得 による支出	—	△5
自己株式の取得による支出	△0	△2,311
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△832	△1,243
シンジケートローン手数料	△540	—
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,735	△1,551
現金及び現金同等物に係る換算差額	77	21
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	14,720	△10,485
現金及び現金同等物の期首残高	14,720	29,440
現金及び現金同等物の期末残高	29,440	18,955

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（不適切な会計処理について）

当社の連結子会社であるシダックス株式会社の傘下にあるエス・ロジックス株式会社（当社が66%の株式を保有するシダックスホールディングス株式会社が100%の株式を保有するシダックス株式会社の傘下にある事業会社。以下、「エス・ロジ社」という。）の食品製造拠点において、棚卸資産の過大計上が2024年12月に発覚しました。これを受けて当社は、不適切な会計処理の内容解明、類似事象の有無、当社連結財務諸表への影響等について社外の専門家も含めた原因究明・内部統制強化チームにより調査を実施し、2025年3月26日に原因究明・内部統制強化チームから調査報告書を受領しております。その結果、過去から特定のエス・ロジ社従業員により実地棚卸に基づかない過大な棚卸残高報告がなされていたことが判明しました。

当社は、調査報告書の報告内容に基づき過年度の連結財務諸表等への影響を精査した結果、2025年3月31日に決算の訂正を行っております。

上記訂正による、連結財務諸表への影響は下記のとおりです。

（単位：百万円）

	第27期 2024年3月期
売上原価	12
営業利益	△18
経常利益	△18
親会社株主に帰属する 当期純利益	△12
商品及び製品	△231
原材料及び貯蔵品	△218
のれん	431
純資産額	△18
総資産額	△18

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、「BtoCサブスク」「BtoBサブスク」「社会サービス」「車両運行サービス」を報告セグメントとしております。各報告セグメントに属する製品及びサービスの内容は、以下の通りであります。

報告セグメント	主な製品及びサービスの内容
BtoCサブスク	食品等宅配事業
BtoBサブスク	オフィス・工場等の社員食堂、学校等の学生食堂の受託運営 学生寮・社員寮の食堂の受託運営 レストラン・社員クラブの受託運営 売店の受託運営 病院・診療所入院患者を対象とした給食、及び病院内職員食堂・外来レストランの受託運営 保育園向け食材等卸販売と、保育園、幼稚園、及び特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、有料老人ホーム、障害者施設等の給食の受託運営
社会サービス	公共施設の運営管理 放課後児童健全育成事業・放課後児童クラブの運営 寮、保養所の運営管理 事務、管理業務 学校給食業務の受託運営 地域観光施設の運営管理
車両運行サービス	企業の役員車等の運転管理 顧客が所有する自家用自動車の運転管理 コミュニティバス・路線バス等の運転管理 貸切バス等の旅客運送

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	連結財務諸表計上額
	BtoC サブスク	BtoB サブスク	社会 サービス	車両運行 サービス	計			
売上高								
宅配 (Oisix)	62,377	—	—	—	62,377	—	—	62,377
宅配 (大地を守る会)	11,327	—	—	—	11,327	—	—	11,327
宅配 (らでいっしゅぼーや)	16,596	—	—	—	16,596	—	—	16,596
宅配 (Purple Carrot)	9,082	—	—	—	9,082	—	—	9,082
メディカルフードサービス	—	8,076	—	—	8,076	—	—	8,076
コントラクトフードサービス	—	5,065	—	—	5,065	—	—	5,065
すくすくOisix	—	1,633	—	—	1,633	—	—	1,633
学童保育	—	—	4,702	—	4,702	—	—	4,702
学校給食	—	—	3,816	—	3,816	—	—	3,816
社会サービス	—	—	2,852	—	2,852	—	—	2,852
役員車両管理	—	—	—	2,645	2,645	—	—	2,645
一般車両管理	—	—	—	2,463	2,463	—	—	2,463
旅客運送	—	—	—	1,105	1,105	—	—	1,105
その他	—	194	—	—	194	16,413	—	16,608
顧客との契約から生じる収益	99,383	14,970	11,372	6,213	131,940	16,413	—	148,354
その他の収益	—	—	—	—	—	54	—	54
外部顧客への売上高	99,383	14,970	11,372	6,213	131,940	16,467	—	148,408
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	6	10	15	32	1,559	△1,592	—
計	99,383	14,976	11,383	6,229	131,972	18,027	△1,592	148,408
セグメント利益	8,765	309	336	301	9,712	1,217	△5,804	5,125
セグメント資産	58,164	29,865	18,483	29,709	136,222	13,243	△5,756	143,709
その他の項目								
減価償却費	1,879	158	51	120	2,209	89	314	2,613
のれんの償却額	281	59	59	100	501	—	—	501
持分法投資利益又は損失 (△)	—	—	—	—	—	△24	—	△24
持分法適用会社への投資額	—	—	—	—	—	22	—	22
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	11,170	18,653	5,670	15,987	51,481	279	94	51,854

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、他社EC支援事業や移動スーパー事業、Webシステム開発事業を含んでおります。

2. 「調整額」のセグメント利益における内容は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であり、セグメント資産の調整額△5,756百万円は、セグメント間債権の相殺消去等△17,660百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産11,904百万円であります。また、減価償却費は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他の収益」は、「リース取引に関する会計基準（企業会計基準第13号）」に基づく収益であります。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	連結財務諸表計上額
	BtoCサブスク	BtoBサブスク	社会サービス	車両運行サービス	計			
売上高								
宅配 (Oisix)	59,662	—	—	—	59,662	—	—	59,662
宅配 (大地を守る会)	10,753	—	—	—	10,753	—	—	10,753
宅配 (らでいっしゅぼーや)	16,642	—	—	—	16,642	—	—	16,642
宅配 (Purple Carrot)	10,093	—	—	—	10,093	—	—	10,093
メディカルフードサービス	—	32,864	—	—	32,864	—	—	32,864
コントラクトフードサービス	—	22,770	—	—	22,770	—	—	22,770
すくすくOisix	—	1,985	—	—	1,985	—	—	1,985
学童保育	—	—	23,472	—	23,472	—	—	23,472
学校給食	—	—	15,792	—	15,792	—	—	15,792
社会サービス	—	—	13,040	—	13,040	—	—	13,040
役員車両管理	—	—	—	11,722	11,722	—	—	11,722
一般車両管理	—	—	—	10,572	10,572	—	—	10,572
旅客運送	—	—	—	4,819	4,819	—	—	4,819
その他	—	3,070	—	—	3,070	18,567	—	21,637
顧客との契約から生じる収益	97,152	60,690	52,304	27,114	237,262	18,567	—	255,829
その他の収益	—	—	—	—	—	179	—	179
外部顧客への売上高	97,152	60,690	52,304	27,114	237,262	18,746	—	256,009
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	93	47	59	200	2,391	△2,592	—
計	97,152	60,784	52,352	27,174	237,462	21,138	△2,592	256,009
セグメント利益	9,361	407	2,158	1,930	13,857	1,048	△8,042	6,864
セグメント資産	50,040	30,098	19,127	30,438	129,704	11,722	△6,863	134,564
その他の項目								
減価償却費	2,793	664	207	515	4,181	146	264	4,592
のれんの償却額	188	372	239	402	1,203	136	—	1,339
持分法投資利益又は損失 (△)	—	—	—	—	—	498	—	498
持分法適用会社への投資額	—	—	—	—	—	45	—	45
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,220	178	100	895	3,396	1,284	134	4,815

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、他社EC支援事業や移動スーパー事業、Webシステム開発事業を含んでおります。
2. 「調整額」のセグメント利益における内容は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であり、セグメント資産の調整額△6,863百万円は、セグメント間債権の相殺消去等△18,115百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産11,252百万円であります。また、減価償却費は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額であります。
3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
4. 「その他の収益」は、「リース取引に関する会計基準（企業会計基準第13号）」に基づく収益であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	BtoC サブスク	BtoB サブスク	社会 サービス	車両運行 サービス	その他	合計
外部顧客への売上高	99,383	14,970	11,372	6,213	16,467	148,408

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	BtoC サブスク	BtoB サブスク	社会 サービス	車両運行 サービス	その他	合計
外部顧客への売上高	97,152	60,690	52,304	27,114	18,746	256,009

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	BtoCサブス ク	BtoBサブス ク	社会 サービス	車両運行 サービス	計	その他	全社・消去	連結財務諸 表計上額
減損損失	372	2	7	10	392	27	△0	420

(注) 「その他」の金額は、賃貸用不動産及び海外宅配事業（香港）に係る金額であります。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	BtoCサブス ク	BtoBサブス ク	社会 サービス	車両運行 サービス	計	その他	全社・消去	連結財務諸 表計上額
減損損失	—	39	—	63	103	117	—	221

(注) 「その他」の金額は、連結子会社である株式会社アグリゲートに係るのれん及び海外宅配事業（香港）に係る金額であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	BtoC サブスク	BtoB サブスク	社会 サービス	車両運行 サービス	計	その他	全社・消去	連結財務諸 表計上額
当期償却額	281	59	59	100	501	—	—	501
当期末残高	615	5,303	4,012	5,145	15,077	148	—	15,225

(注) 「その他」の金額は、農産物、食料品製造販売事業に係る金額であります。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	BtoC サブスク	BtoB サブスク	社会 サービス	車両運行 サービス	計	その他	全社・消去	連結財務諸 表計上額
当期償却額	188	372	239	402	1,203	136	—	1,339
当期末残高	490	4,940	3,772	4,742	13,946	890	—	14,837

(注) 「その他」の金額は、農産物、食料品製造販売事業に係る金額であります。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	794.83円	874.72円
1株当たり当期純利益	112.38円	103.13円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,108	3,638
普通株主に帰属しない金額(百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	4,108	3,638
普通株式の期中平均株式数(株)	36,558,053	35,276,140
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	子会社が発行する新株予約 権については、希薄化効果 を有していないため、希薄 化後1株当たり当期利益の 算定に含めておりません。	子会社が発行する新株予約 権については、希薄化効果 を有していないため、希薄 化後1株当たり当期利益の 算定に含めておりません。